

## 第3期中期目標素案に対する市民意見の募集結果について

1. 募集期間 平成28年9月16日から10月14日まで
2. 募集方法
  - ・市ホームページに掲載
  - ・市役所市民情報センター、各区役所、市大八景キャンパス、附属病院、センター病院にて資料を配布
3. 提出方法 電子メール、ファクシミリ、郵送
4. 提案数 5件(電子メール1件、ファクシミリ2件、郵送2件)

市民からの意見		意見に対する回答
1	目標素案にある「国際総合科学部のあり方の検討」では抽象的なので「学部の再編検討、分かりやすいがくべ名称の検討」などの内容を記載すべきである。	<p>中期目標の段階では、具体的な記述はしておりませんが、「時代の変化や学生の多様なニーズに柔軟に対応した教育組織のあり方について検討を進める。」として、法人に対して示しています。</p> <p>学部の構成や組織など、大学の具体的な運営・取組に関するご意見として、法人に対して伝えます。</p> <p>中期目標の段階では、具体的な記述はしておりませんが、「時代の変化や学生の多様なニーズに柔軟に対応した教育組織のあり方について検討を進める。」として、法人に対して示しています。</p> <p>教育研究施設の拡充等のご提案につきましては、大学の具体的な運営・取組に関するご意見として、法人に対して伝えます。</p> <p>中期目標では、「相互交流等を通じ、学生が国際的感覚を養い、幅広い視野を持ったグローバル人材の育成を推進する。」よう、また、「アカデミックコンソーシアムによるネットワークの活用や横浜市の国際施策との連携による国際交流・国際貢献を推進する。」よう、法人に対して示しています。</p> <p>中期目標では、「国際社会に開かれた大学として、国際競争力を有し、多くの留学生にも選ばれる教育水準や教育研究環境を有した大学づくりを推進する。」として法人に対して示しています。</p> <p>数値目標等具体的な取組については、法人が作成する「中期計画」および「年度計画」の策定の中で検討します。</p>
2	国際総合科学部を解体し、「マネジメント学部(経営学部)」と「社会再生学部」の二つを創設すべきである。	
3	国際総合科学部の名称は、何を学んでいるか不明瞭で学生からも企業からも分かりにくい。市大にゆかりのある商学部を復活させるべきである。	
4	国際総合科学部は何を学べるのか分からず、医学部との2学部体制では総合大学とは言えない。国際総合科学部の再編と市大の原点である商学部の復活を要望する。	
5	社会を取り巻く環境は急変しており、アジア諸国の発展や地球環境問題、少子高齢化などにも対処できる学生を育成するための新しい商学部を設置してはどうか。	
6	情報関係の知見に乏しい学生は今後生き残ることが困難になると思われることから、情報関係の教育研究施設を拡充するなど、新たな組織を設けるべきである。	
7	市大から海外への留学生を増加させる目標の記載がない。	
8	国際化について、授業の50%は英語で行う、教員の20%は外国人にする、海外大学機関との連携を図る、留学費を含めた支援活動を行うなどの目標を掲げるべきである。	